

阿蘇市の基幹産業である農業と観光の実態と今後の取り組みは



五嶋 義行

五嶋 今、農業の担い手不足、労働力不足の中、出入国管理法が改正され外国人の受け入れの実態は。

佐伯農政課長 外国人研修生は農家の生産拡大や人材の確保に一翼を担っている状況であります。JA阿蘇が平成18年から外国人技能実習生受入事業を展開しており、現在カンボジアから61名、中国から3名の受け入れが行われています。

五嶋 法律が変わってこの研修生問題を今後どのように考えていくのか。

農政課長 本年4月からの新たな制度の中、県の方でも受入環境の整備に係る取組みを検討されています。このことから、JA阿蘇をはじめ、関係機関が連携して、就業人口が不足する中での外国人材の受け入れが増えるような環境整備を推進していきたいと考えています。

阿蘇市の観光振興について

五嶋 阿蘇市の観光ガイドの実態は。

秦観光課長 市の観光ガイドは、阿蘇ジオパークガイドの80名をはじめ、阿蘇神社を案内する一の宮ボランティアガイド会、阿蘇火山博物館ASO田園空間博物館、旅館組合の5団体で、昨年度も大変多くの方々を案内されています。

五嶋 現在、ガイドの数は足りているのか。

観光課長 外国人を案内するガイドが不足しています。そのために地域通訳案内士の育成を図っていきます。



全国市議会議長会表彰受賞者

第95回全国市議会議長会が本年6月11日に東京都内で開催され、全国市議会議長会表彰規定に基づく表彰があり、4年以上議長職にあった藏原博敏氏、副議長職にあった井手明廣氏に表彰状が送られました。



井手 明廣氏



藏原 博敏氏

阿蘇市議会立野地区の復旧現地視察

令和元年7月12日



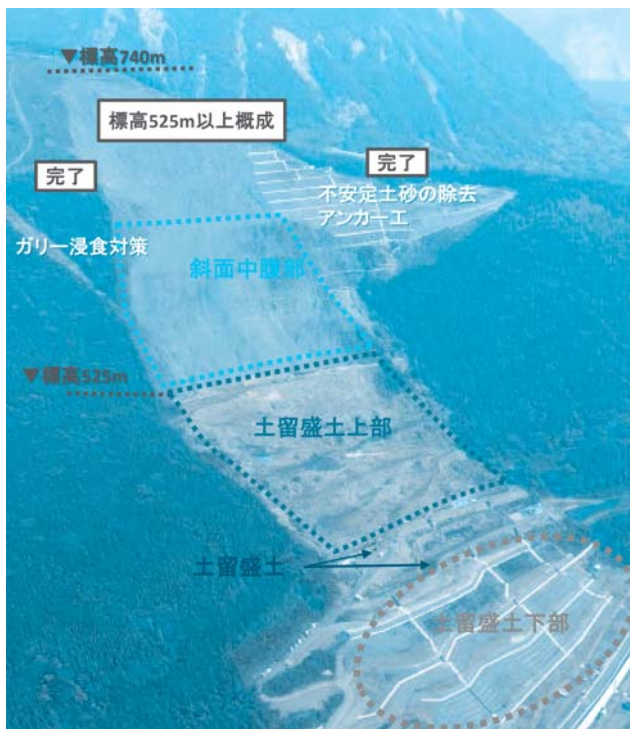
＜熊本地震発災時の被災概要＞

- 発 災 日 ■ 平成28年4月16日（本震）
- 被 害 状 況 ■ 国道57号、国道325号、JR豊肥本線
- 崩壊土砂量 ■ 約50万m³（推定）

国土交通省は、平成28年熊本地震による斜面崩壊で寸断された国道57号・JR豊肥本線を熊本都市圏と大分・宮崎を結ぶ、生活、経済、観光を支える重要交通として捉え、早期復旧を目指し、高度な技術力をもって崩壊斜面对策に取り組んでいます。

阿蘇大橋地区の進捗状況（令和元年6月18日現在）

斜面中腹部の施行が概ね完成し、土留盛土上部の対策に着手しました。



《土留盛土上部》鋼製土留工、転石破碎 施工中



《土留盛土下部》

- ・山腹水路工 施工中
- ・斜面对策工事、黒川河川欠壊防止工事で工事ヤードとして使用中

熊本地震により不通となっているJR豊肥本線については、2020年度内の開通を、現道国道57号については、路盤改良や崩落防止対策工事を進め、早期の開通を目指していますとの説明がありました。